

自己評価結果公表シート(平成30年度)

宮山台幼稚園

1. 本園の教育目標

「元気な子」・「考える子」・「思いやりのある子」の三原則を達成するための、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

平成30年度からの幼稚園教育要領をふまえて、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組めます。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 保育の計画性	新幼稚園教育要領をふまえて、カリキュラム等を年度当初に教職員で確認し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識し保育に取り組めました。また、日々の保育の計画や進行具合、反省等を講師の先生や他の保育者から助言をもらい改善していきました。
② 保育のあり方、幼児への対応	園児の健康状態の把握に努め、変化を見逃さず、自分で判断できない時には、他の保育者に相談したり保護者に確認したりして、情報を共有するよう努めました。保育者同士の連携では、クラスに関わらず適切な言葉掛けなどをしました。
③ 保育者としての資質や能力・良識・適正	個人の良識によるだけでなく、園のコンプライアンスについて再確認しました。
④ 保護者との関わり	以前にも増してバス通園の園児が多く、年度初めに保護者と面談の機会を持つことで、保護者との距離が縮まったように思います。また、今年度よりキンダーカウンセリングを実施しました。月1回でしたが、毎回予約で一杯になっていました。専門家に相談することで保護者の不安な気持ちをやわらいだように思います。
⑤ 研修の充実	園内での講師の先生の講習を充実するとともに、園外では幼稚園連盟・大阪府・堺市の専門研修や総合研修に参加しました。また、造形の研修に専門的に関わった教諭からその内容について教員全員で共有する為にさらに園内の研修を行うことで、教員一人ひとりの質の向上に繋がったと思います。
⑥ 安全対策と施設整備の推進	地震・火事・不審者等、園児の避難訓練は、回数を増やし実施しました。大阪北部地震の時には、登園前の時間帯でしたが、日ごろの訓練（だんごむしのポーズ）が活かされていたと、保護者の方に教えて頂きました。ブロック塀の設置箇所をフェンスに変更しました。9月、台風の被害にあい、休園を余儀なくされましたが、その多くが隣地の公園の樹木の枝によるものであったため、市の公園課に改善の申し入れをしました。

⑦ 健康管理の充実	園児・教職員の各種健康診断を行っています。また定期的に水質検査を行うとともに、専門業者によるトイレ清掃も実施しています。
-----------	--

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・上記評価項目にある事項については、一定の実績をあげることができたと考えています。 ・新幼稚園教育要領をふまえた取り組みを今後も継続することはもちろんのこと、経験年数にたよることなく新たな保育に挑戦したいと思います。 ・キンダーカウンセリングの実施により、保護者の不安な気持ちがやわらいだことは、大変良かったと思います。 ・安全対策としての避難訓練の回数を増やし、今後も続けていきます。
--

5. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育・保育の無償化が実施されれば、自己評価や情報公開の重要性がさらに高まることが予想されるため、その対応や計画について望まれます。 ・園児の小学校区があまりにも多いため、小学校との接続については不十分な面もあり今後の課題となります。 ・教職員・園児・保護者それぞれが防災・危機管理の対応について再確認をすることで、自然災害や不審者、交通事故などに備えるよう努力します。

6. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に妥当な保育・運営がなされていると認められます。 ・保育の質の向上への取り組みに一定の成果が見られます。 ・キンダーカウンセリングの実施により、保護者の不安な気持ちがやわらいだことは、大変評価できます。 ・安全対策としての避難訓練の回数を増やした点も評価できます。今後も続けてほしいと思います。
--

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められています。
